Vascular Street Journal 2023年1月号

謹賀新年

# 「変化がチャンス、ピンチがチャンス、チャンスしかない今を生きる」

福岡大学 学長 朔 啓二郎

皆さま、あけましておめでとうございます。本年も、皆さまにとって良い年となりますよう、心からお祈り申しあげます。

数年にわたる新型コロナウイルス感染症、オミクロン株の猛威の中で、「変わる」チャンスをたくさん与えられたように思えます。変化がチャンス、ピンチがチャンス、つまり、今はチャンスしかないと感じています。毎日が楽しく、活気に満ちた生活をしているのではないのですが、そして、物事はこうならなければいいなという方向にしか進んでいかないのですが、チャンスに満ち溢れた時代であることは間違いありません。「今を活かす」とはこのことですね。

社会では、多様性、公正、包摂(DEI: diversity, equality, inclusion)の概念が尊重され、変化が日常で、不変が偶然、つまり、VUCA[Volatility(変動性)、Uncertainty(不確実性)、Complexity(複雑性)、Ambiguity(曖昧性)]の時代です。

チャンスがたくさんあることが、大学のプロジェクトの成果を最大化することが出来るので、大きすぎる目標設定の方が、意味があるかもしれません。福岡大学では、カーボンニュートラル推進拠点を設置し、キャンパスをグリーン化し、産学官連携によってイノベーションで高付加価値の研究や製品を生みだす方針です。デジタル化、データサイエンス・AI 教育を加速させ、グリーン人材、デジタル人材を創る、また、スポーツ・健康まちづくりコンソーシャムでスポーツを通して地域とのつながりを深めていくように企画しています。今年、世界水泳が福岡市で開催されますが、福岡大学公認プールも利用していただきます。このようなビジョンとミッションで今年も駆け抜けたく思っています。これらの方向性は、創立 50 周年を迎えた医学部・病院が常に目指す「質の高い安全な医療、温かい医療」に繋がるはずです。

いつも、生き生きしながらやっておりますが、今年もよろしくお願いします。